

様式（第8条関係）

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	平成29年度第1回益田市学校給食共同調理場運営委員会
開催日時	平成29年11月22日(水)15時30分から17時05分まで
開催場所	高津学校給食センター 会議室
出席者	藤井寿朗委員長、片野陽子副委員長、大橋大委員、西村満大委員、石橋悦子委員、角森丈俊委員、渡邊育子委員、梅津明則委員、和田純代委員、栗栖朗子委員、武内白委員
議題	<p>(1) 平成28年度学校給食事業報告</p> <p>(2) 平成29年度学校給食事業計画</p> <p>(3) 平成29年度上半期学校給食事業報告</p> <p>(4) 学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの改定</p> <p>(5) 平成30年度からの益田市学校給食会への事務委託</p>
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0名
審議経過	<p>意見・質問等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異物混入について、保健所への届出、報道発表の基準を定めているか。不快なもの：食べ物に食べられないものが入っている。危険なもの：健康被害を引き起こすようなものについては保健所に届出が必要。 ⇒危機管理マニュアルにおいて定めている。現在平成22年度策定のマニュアルを改定中である。 ・異物混入について、28年度実績と比較して29年度は年度途中であるにもかかわらず、件数が多いのはなぜか。 ⇒調理場内での調理員等の目視確認の徹底の結果である。 ・給食の残菜を調べて、嗜好調査をしているか。 ⇒料理ごとの残菜量をデータ化し献立に反映できるようにしている。魚、酢の物は残菜が多く、丼ものやカレーなどは少ない。 ・栄養士による食の指導の回数に偏りがある。西益田小や安田小は回数が少ないように思う。 ⇒学校からの要請により指導に出ている。
問合せ先	教育部教育総務課高津学校給食センター 電話 22-0229